

あなたの街の水道について、考えてみませんか？ 「千早赤阪村*」水道事業の現状と課題、将来について

*大阪広域水道企業団が水道事業を経営しています。

いま、水道は、さまざまな課題に直面しています！

- 人口減少等に伴い料金収入が減少する中、老朽化した水道管や施設の更新・耐震化によるコストの増加、さらには技術職員の確保など、さまざまな課題があります。

村の水道管の老朽化の状況は？更新計画は？

千早赤阪村計画

%	2016 年度	計画目標（目標年度）	☺ ☹の詳細は、次頁参照	
			府平均 2016 年度	全国平均 2016 年度
老朽管率	42.0	具体的な年次・数値目標は定めていない。	28.6	14.8
管路更新率	3.16		0.82	0.76
基幹管路の耐震適合率	1.4		41.1	38.7
浄水場の耐震化率	0		4.5	27.9

広域化は？

千早赤阪村での広域化の取組み

水道料金を抑えつつ、持続的・効率的な管路更新等を進めていくには、中長期の収支見通しを踏まえたコスト削減や経営基盤の強化に取り組むことが重要です。大阪府では、府域一水道に向けて経営統合や施設の共同化などによる府域水道の広域化を推進します。

2017 年 4 月 大阪広域水道企業団と水道事業統合！

大阪府で、大阪広域水道企業団との統合シミュレーション結果**を基に、2045 年度の水道料金を試算してみると、・・・

大阪府試算

水道料金 (千早赤阪村)	2016 年度	2045 年度
	3,448 円	単独経営 およそ 9,626 円

※一般家庭で1ヶ月に使用する水量を約20m³とした場合

将来、水道料金の値上げは必要です。しかし、統合することで、将来の水道料金の値上げの抑制（値上げ幅の縮小や値上げ時期の延期）が見込まれます。

用いた村の計画

- 大阪広域水道企業団と四條畷市・太子町・千早赤阪村との水道事業の統合に向けての検討、協議統合案（2016年度策定）

村計画による老朽管率等の状況「☺」について

- 計画や施設がない場合「－」。
- 老朽管率は、現状より改善する場合「☺」、悪化する場合「☹」。
- 管路更新率は、60年間ですべての水道管を入れ替えられる1.67%を達成する場合「☺」。
- 基幹管路の耐震適合率は、2022年度末目標50%（国指針）を達成する場合「☺」。
- 浄水場耐震化率は、現状より改善もしくは100%のまま推移する場合「☺」。

**平成26年4月に大阪広域水道企業団と「水道事業の統合に向けての検討、協議に関する覚書」を締結し、企業団との統合に向けた検討を行い、とりまとめられた統合案の中に含まれている企業団が行った経営シミュレーションの結果。単独経営するケースと統合するケースでの経営状況をシミュレーションし、将来の水道料金（供給単価）の改定時期、改定率を比較、統合の効果を確認しています。